2018

5月 プロジェクト発足

10月 ぱんやしろしろ 公演に向けた WS 始動@刀川小体育館

全６回の WS を経て…

2019

3月 「ぱんやしろしろ」上演@北橋公民館 500人の客席を２回とも満席に。大好評のうちに幕を閉じる。

4月 実行委員会にて第２回公演の実施が決定

8月 参加者説明会を実施

9月 ぱんやくらぐら公演 WS 始動、歌唱の特別練習

11月 赤城、上三原田の歌舞伎舞台 創建 200 年祭を観賞

12月 舞台小道具の手ぬぐいデザインを地元中学生を対象に公募開始

2020

1月 群馬県立女子大学文学部美術美術史学科の学生による舞台セットデザインで大道具製作作業開始

2月 第２回公演「ぱんやくらぐら」公演@渋川市民会館大ホール

6月 6/6 渋川女子高校定期演奏会にて渋川女子高校コーラス部と参加メンバーで合唱曲『明日の空』共演予定

渋川子ども若者未来創造プロジェクト

✉ shibumyu@gmail.com

ホームページ・SNS

ミュージカルの練習風景や、渋川の魅力再発見、情報随時更新中！
前回のミュージカルの様子などもご覧いただけます。

@shibumyu

渋ミュ

令和元年度「群馬の文化」支援事業 渋川市提案型市民協働事業

渋川子ども若者未来創造プロジェクト

渋川市オリジナルミュージカル

ばんやくらぐら

2020年 2/23(日) 2/24(月祝)

渋川市民会館 大ホール

主催 渋川子ども若者未来創造プロジェクト

協力 もんもちプロジェクト　群馬県立女子大学文学部美学美術史学科　群馬県立渋川女子高校コーラス部　エコー・ミュージック・オフィス・井上良博様
渋川祇園献祇会　元町壮健クラブ　元町青年会　古流松東会 家元 芳埜理鳳様　赤城ＶＹＳ　(株)ブレインファーム　(有)中村染工場

後援 渋川市 渋川市議会　渋川市教育委員会　(一財)渋川市公共施設管理公社　群馬県　群馬県教育委員会　JA赤城たちばな　NHK前橋放送局　渋川商工会議所　しぶかわ商工会
群馬テレビ　エフエム群馬　上毛新聞社　朝日新聞社前橋総局　毎日新聞前橋支局　東京新聞前橋支局　まえばしCITYエフエム　朝日ぐんま　群馬よみうり新聞社　読売新聞前橋支局

主催者代表あいさつ
星野敬太郎会長

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。
前回公演「ぼんやしろしろ」からおよそ１年。公演をご覧いただいた方々やご支援いただいたみなさまから温かいお言葉や激励をいただき、おかげさまで第２回公演を迎えることができました。これまで本当にたくさんの皆様に支えられ準備を進めることができました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。
さて、本プロジェクトは少子高齢化の波を受けて人口減少が進んでいる渋川を、市民らがミュージカルを通して元気にしていきたい、その一つのきっかけになれないか、という想いのもと取り組んでおります。２回目となる今回はリニューアルしたばかりの市民会館で、参加者も渋川市民らに加え、東京からのメンバーも含めて総勢９０名と昨年よりも増え、ますます広がりを見せております。ぜひ皆様にもこの地域の市民が作り出すエネルギーを感じていただければと思います。

演出家
中原和樹あいさつ

毎度毎度の稽古で思うことですが、たくさんの人が一つの物語の為に一処に集まるということは、本当に奇跡的です。ほんの少しの選択の違いがあったとしたら、出逢っていなかったかもしれない人達の人生が、こうしてここで交わっている。それが何よりも尊いことだと信じて、一丸となって作品を創ってきました。今回の舞台は昭和四十年代です。もちろん現代とは違う生活様式や社会の中で生きる人々ですが、根本となる部分は変わりません。何かを始め、成し遂げるための熱気、エネルギー。人と人が繋がるということ。土地に住み、生きていくということ。
これらは現代に向けた願いでもあり、渋川という場所に向けた願いでもあり、そして東京と日本全体に向けた願いでもあります。
奇跡的な「縁」で繋がった人々が創り上げる物語。このご縁を、いらしたお客様方ともこうして結べることに、とても感謝しています。
どうぞお楽しみください。

キャスト

関 源蔵役…萩原 稜将 / 関 あやの役…田中 沙織 / 大森 辰治役…北爪 浩之 / 大森 ゆかり役…城詰 完奈 / 大森 望役…前田 一光 / 水元 一役…森田 陽斗 / 水元豊美役…和田 万奈未 / 水元 君枝役…青木 琥珀 / 田中 太郎役…橋本 伸太郎 / 田中 ハナ役…栗原 幸代 / 田中 明子役…松本 好未 / 春夏冬 雛子役…村井 美晴 / もっさん役…宇都 恵利花 / キタマキ役…関 章弘 / たけゆき役…木全 弘樹 / みっちゃん役…三俣 郁美 / ふねちゃん役…小林 美樹 / ヒメちゃん役…長谷川 ひかり / 関 源蔵（現代）役…矢野 和登志 / 麦じぃ役…矢野 和登志 / 麦ばぁ役…岩渕 智子 / アンサンブル…飯塚 千代子・泉 涼子・石田 瑞香・狩野 遥・田村 柚葉・中村 愛子・佐藤 結羽・細渕 恵美・高橋 見奈・神戸 優里・石井 由貴・中林 真由・稲松 遥・安田 早希・三村 絢香・笠田 優奈・荒井 優花・田村 利奈・田中 朝菜・佐藤 花音・多田 聡

スタッフ

脚本・演出…中原 和樹 / 作曲…伊藤 駿 / 編曲…西村 香李 / 歌唱指導…山野 靖博 / 歌唱指導補佐…日下 麻彩 / 振付…おじょ / 演出助手…飯塚 朋子・中野 真由子 / アクティングスタッフ…稲松遥・宇都恵利花 / 舞台監督…吉田 誠 / 舞台美術アドバイザー…千葉 泰祐 / 大道具アドバイザー…後藤浩久 / 音響…印南 昭太朗 / 照明…佐藤 恵 / 照明ピンオペレーター…金澤 萌依・岩居夏奈子 / 制作統括…伊藤 剛 / 制作助手…西田 裕信・中尾 莉久 / 広報統括…佐々木 悠 / 広報…奥田 美紀 / デザイン兼広報…徳永 優子 / 舞台スタッフ…小林 秀夫・半田万尋・山田愛莉・藤崎 花帆・上田 麻菜美・山崎 京子・竹内 正則 / 運営ボランティア…星野 敬太郎・須田 豊・飯塚 欣彦・野口 賢人・青木 泰葉・狩野 和紀・齊藤 滉稀・関口 知子・飯塚 祐子・田部井 千圭広・飯野 由希子・野本 京子・小山 宗胤・飯塚 陳古・諸田 朱音・大平 けいと・島方 優果・福田 崇人・長沼 未希

スポンサー（順不同）

このプロジェクトはスポンサーの方々の応援の元で成り立っています。感謝をこめてここに掲載します。

ぱんやさん OHGANE / 加藤自動車（株）/ エイトバーバー / ニコニコ亭 / Café&DiningBar ヴァンティエー / ミカド美容室 / イタリア亭 / 岩附屋 / 中国料理 四川 / Beauty Shop ふじかわ（フレッセイ荒牧店内）/ 飯塚俊雄様 / 飯塚博文様 / 三誠商事 / 和くつろぎ処 うたしあ / 鶴亀庵 /（有）越中屋 / うどん茶屋水沢万葉亭 / 石北医院 /（株）千明建設 / 佐藤五男様 / 地酒屋ぼん / マーキームーン /（有）柳沢リネン / 今成運送（株）/（株）田子商会 /（有）東京ペパーミント / 関東いすゞ自動車株式会社渋川支店 / すずや衣料品店 /（株）クレッセント / 千明仁泉亭 / 税理士法人 群馬中央会計 / 保険のアーク（代）浦野忠夫様 /（株）ヤマト / 上毛新聞ＴＲ / 宮田ホタルの里を守る会 会長津久井寛一様・津久井廣美様・星野信好様 /（有）群馬リスク・マネジメント /（有）赤城土建 /（有）須田石材店 /（有）須田葬祭 /（有）和幸 /（有）東山電気 /（有）メンテナンスサイトウ /（有）永井石油 / 大川周多様 / 須田眞一様 / 柿沼克様 / 森芳子様 /（株）レンタルランド / 手打ちそば・うどん けむりや /（有）トシマ電子工業 /（有）仙田屋 /（有）かね松 /（株）産恵不動産 /（株）敷島堂 / そば処 やまさき / ホテル松本楼 / 須田浩一様 / 大畠重喜様 /（株）吉田有花園 / 渋川名物手作り おしくらまんじゅう / 渋川ロータリークラブ / 茂木武雄様 / 和心の宿 大森 / 美松館 / 温泉宿 塚越屋七兵衛 別館香雲館 / いかほ秀水園 / 横手館 /【mi:】Bagel cafe / 細渕春美様 / 兼希工業（株）/ とんかつ屋久兵衛 / 石岡歯科医院 / 花膳 / GSK 社会保険労務士法人渋川事務所 / 鈴木喜代様 / 角田寿一様 / 永井孝和様 / 葬儀のセイサングループ / 北群馬信用金庫 /（株）リフォーム群馬 / 小山宗胤様 / 藤川建築（株）/ 野口明様 / 天龍寺 /（株）森の香 / P&E フーズ / JA 赤城たちばな /（株）叶屋食品 /（株）シブカワ包装 / 鳥山畜産食品（株）/ 喫茶店ルナ / 白石和己様 / 和田亮一様 / 佐々木直広様 / 徳永友喜様

前回（ぼんやしろしろ）あらすじ

実家の裏山にある小さな小さな社。小さな女の子二人と、男の子一人。「ぼ・ん・や・し・ろ・し・ろ」日暮れまで遊んだ記憶と、セミの鳴き声。ある日突然、あなたの思い出の場所が、便利さと引き換えになくなるとしたら。夏の盛りお盆休み。大人も子供も、男も女も、誰にでもあるふるさとの物語。暖かく切ない、ちょっと不思議なオリジナルミュージカル

ばんやくらぐら・あらすじ

昭和４０年代のある田舎町。その土地でずっと続いていた、名前も無いような「お祭り」。そのお祭りの存続・変化・縮小に関わる、熱い想いを持った人たちの物語。前回公演「ぼんやしろしろ」の登場人物・源蔵が若かりし頃。人の繋がりと、自分たちが生きる場所についての、オリジナルミュージカル第二弾！

ばんやくらぐら登場人物・相関図

スポンサーマップ

ばんやくらぐら出演者・スタッフ・応援者の声

長谷川ひかり（20歳 / 役：ヒメちゃん）　高校まで群馬の高校、今は東京の大学に通ってます。参加したきっかけは発起人の飯塚朋子さんが高校の先輩（ミュージカル部）で面白そうと思ったからです。私の役は「ヒメちゃん」という自分にとってチャレンジな難役で、どう演じればいいかと思案して本番を迎えました。役と向き合っていくなかで、さまざまな感情があふれること、打ちのめされたり葛藤することが多かったですが、それ以上にみんなと舞台を作っていくわくわく感が強く、毎回稽古が楽しくてしょうがなかったです。人とつながれることがこのプロジェクトの魅力です。実は舞台スタッフのリーダーをしている上田さんとは小学生の同級生、このプロジェクトで再開しました。縁って不思議ですね！そしてこの舞台を見に来ていただけたお客様へ、前作をご覧になった方は「あ‥このシーンはもしかして？」と繋がるシーンが盛りだくさんです。初めて見ていただく方もきっと楽しめる作品です。昭和40年代を舞台にした登場人物のエネルギッシュさも感じていただけたらと思います。

萩原稜将（27歳 / 役：関源蔵）　就職してから趣味で演劇をしてましたが昨年度の「ぼんやしろしろ」の開催を回覧板で知り、渋川市内でお芝居ができることに魅力を感じ、参加しました。自分が演じる源蔵は自分の住む町や町の人々をとても大切にしている男です。彼の思いがお客様にも伝わるように精一杯演じます。また、彼に負けないくらいこのプロジェクトを通して出会った人達を大切にしたいです。このプロジェクトに参加するまで、自分は渋川市で演劇ができるなんて思っていなかったし、「渋川市で何か面白いことをやりたい」と思っている人が沢山いることも知りませんでした。このプロジェクトをきっかけとして、渋川市にも熱い思いを持った人が沢山いる、皆で力を合わせれば面白いことができるということを感じていただけたらと思います。

村井美晴（30歳 / 役：春夏冬雛子）　このプロジェクトとの関わり合いは、以前、芝居に対し自分の限界を感じてもうやめてしまおうと思っていた時にちょうど前作のプロジェクトの応募が回覧板で回ってきたことがきっかけでした。「これで自分の芝居へのチャレンジは終わりにしよう」と思っていましたが「演じる楽しさ」の虜になり、今回も参加しています。私が演じる春夏冬巡査は、とても強い信念を持った人です。私とは全く真逆な人物なのですが、稽古を重ねるにつれて少しずつ役柄に近づくことができました。見に来てくださった皆様にはご自身の「地域」に対する思いを見つめ直し、何かしら行動するきっかけになれたらと思ってます。

矢野和登志（80歳 / 役：麦じい・現代の関源蔵）　79歳の自分でもできるかな？と思って昨年申し込み、今回も参加しました。このプロジェクトで若者と触れる機会が多く、年は取らないものだな‥‥と思ってます。若者に助けられて、やればできるのだ！と気付きました。ありがとう。昭和40年代の時代背景ということで、その時代に生きている人もいれば、生まれてなかったメンバーもいます。皆が舞台を作り上げる上で、当時を知っている自分の話も皆に聞いてもらい作り上げました。劇中にでてくる「若連」という団体は渋川市にもあるんですよ！またこちらも楽しんでいっていただけたらと思います。

前田一光（左下12歳 / 役：大森望）松本好未（右下10歳 / 役：田中明子）
青木琥珀（右上9歳 / 役：水元君枝）

前作に負けないものに仕上げます！そしてお客様に笑顔で帰ってもらえるように頑張ります、最高のミュージカルにできるようします！楽しんでいってください〜。

上田麻菜美（20才 / 大道具リーダー）　群馬県立女子大学チームメンバーでデザイン案から製作まで担当させていただきました。昭和40年代の舞台セットということで、その時代背景や建築物〜ファッションなどの本を読みあさりながら作り上げました。役者の演技はもちろん、群馬県立女子大学生が作った舞台セットも是非注目していただけたら嬉しいです。

渋川市教育長　中沢守様（ご協力：全面支援/ 手ぬぐいプロジェクト審査員）

中原和樹氏の巧みな演出により、キャスト・スタッフの皆さんが劇中の人物に没頭し、自らの人間性を重ねて表出している公開練習の姿に大いなる元気をもらっています。演じるというより「自らの心」を表現している皆さんのミュージカルは、本日の市民会館を渋川市を盛り上げようとする「ふるさと愛」でみたすことになるでしょう。

いかほ秀水園 女将　飯野由希子様
（ご協力：協賛 / お風呂場所提供 / 夕食提供（秀水園コックより）/ 出前コンサート相談役など）

前回は出演者として参加し、今回は応援者として参加してます。このプロジェクトは様々な年代／出生の人が集まり一つの物語を創り上げます。東京組の方と交流していると、気づかなかった渋川市の新たな魅力に気づかされることも多かったです。泣いて、笑って、もがいた、素敵な作品なので満足できるはずです！

ホテル松本楼　若女将　松本由起様（ご協力：協賛、お風呂場所提供）

娘が2年連続出演しておりますが、この交流活動を通して、将来の夢が見つかる程の経験が出来た様で、親として感謝の気持ちで一杯です。老若男女が真摯に向き合って、皆で一緒に作品を作り上げている様子に、もうすでに感動しています。本番応援してます。

群馬県立渋川女子高等学校教諭　荒木奈都子先生（ご協力：合唱プロジェクト「明日の空」歌唱指導）

普段は女声合唱を中心に活動していますが、定期演奏会では表現力を高める目的でミュージカルにも挑戦しています。「明日の空」は地域に密着した題材、しかも等身大で共感できる歌詞なので、歌を通して交流が広がり、地域の活性化に繋げることができたら素敵ですね。

群馬県立女子大学 学長　小林良江様（ご協力：手ぬぐいプロジェクト審査員）

様々な世代の皆さんが渋川の地に集まり、作り上げたミュージカル。ふるさとを思う熱い気持ちがほとばしり、見ている私まで元気になりました！多くの方々にご覧いただきたいと思っています。

群馬県立女子大学 美学美術史学科長　塩澤寛樹様（ご協力：大道具学生指導）

群馬県立女子大学の美学美術史学科では、芸術を通じて社会貢献に努めてまいりました。今回のミュージカルでは学生と教員がそれぞれの持ち場でお手伝いができ、私たちも充実感をもらえたのはとても幸いでした。必ずや公演の成功を確信しています。

石北医院院長　石北敏一様（ご協力：協賛）

企画立案者の一人飯塚さんから『渋川でミュージカルをするんだ』と最初にお聞きした時は正直驚いた。うまくいくのかな？が本当の所の思いだったが、おっとどっこいである。第1回の昨年の舞台は大盛況だった。改めて強く思ったのは『街おこしは実は人おこし』いかに人の心に火をつけるかが大切なんだと。人が動けば街は生き返る。それを実現させたスタッフはじめキャストの皆さんに喝采を贈りたい。

JA赤城たちばな　千木良広様
（ご協力：地元のおいしいお米の協賛/ぼんやしろしろ昼食提供係「まかないボランティア」職員参加など）

JA赤城たちばなでは地域活性化の一環として、JA職員の出演や地元産の美味しいお米の協賛、そして参加者らへの昼食を提供する「まかない班」のボランティア（第1回に参加）としてJA職員が参加しました。一つのことを創り出すオリジナルミュージカルに感銘を受けましたし、JAとして地域の方々への一助になれたことに感謝してます。

ばんやさんOHGANE　大金栄一様（ご協力：協賛 / 夕飯朝飯のパンご提供）

東京と地元の若い人たちがミュージカルを演じている様子を勝手に想像しながら毎日パン工房に立っています。お店に来てくれる出演者の方から練習の様子を聞くたびにどんどん夢が広がっていきます。これからも交流が長く続くといいですね。来年もまた公演できるよう願います。

渋ミュ新聞

創刊号

渋川子ども若者未来創造プロジェクト

2月23日24日　保存版

（1）これまで
ぼんやしろしろ
振り返りと
お客様の声

（2）（3）現在
ミュージカルから
地域に広がる
活動の輪を紹介

（4）これから
ばんやくらぐら
出演者・スタッフ・
応援者の声

ホームページ・SNS

ミュージカルの練習風景や、
渋川の魅力再発見など情報随時更新中！

@shibumyu
渋ミュ

感想・お問い合わせはこちら

shibumyu@gmail.com

2019年3月

公演「ぼんやしろしろ」観客動員約900名 2日間とも満員御礼！

観客の皆様からも絶賛の声多数！

好評のうちに終幕

当日のお客様アンケートより

▼ふるさとの良さを見直すきっかけが出来ました。とても素晴らしい作品でした。久しぶりに感激しました（渋川在住70代女性）

▼渋川市に対して改めて愛着がわきました。共感し涙しながら見させていただきました。（渋川在住50代女性）

▼子供時代の思い出、変わるものへの諦め、後悔も、なんだかいろいろ思い出し泣きそうでした（渋川在住30代女性）

▼子供にとっても大人にとっても、こういった舞台での自分表現は一生の宝物となると思いました。（群馬県在住男性）

▼〝舞台に立てる街〟として街のアピールや強みの一つとして継続していくことがとても重要だと思います。（群馬県在住女性）

メディア掲載多数！

テレビ2社4紙掲載、新聞掲載5紙15回、タブロイド4紙…

ぼんやしろしろ参加者アンケートより

▼「地元について考えさせられるミュージカル」を上演できたことが大きな財産になりました。参加した時は、こんなに心動かされるとは思わなかったし、地域にこんなに若い人がいると思っていませんでした。（30代女性／渋川参加）

▼いやぁ、こんな難しいことだと初めて感じました。でもよかった、皆が応援してくれたからおじいちゃんでもできた。（70代男性／渋川参加）

▼舞台一つに関わるひとがすごくたくさんいて、いろんな方面からサポートしてもらい、キャスト同士もすごく深いつながりができて、こんなに自分にとって大事な場所になると思わなかったです。（20代男性／渋川参加）

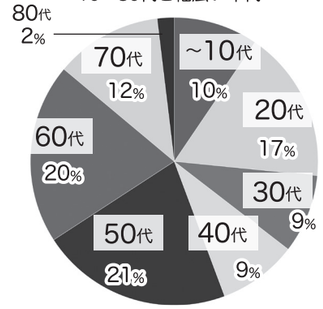
▼自分自身と向き合う機会が多く、最初は辛いときも多かったけれど、たくさんの人に支えてもらって、本番は本当に心から楽しめた。改めて人との関わりの大切さを感じ、人と繋がっていく面白さ、優しさに触れることができ本当に幸せでした！（30代女性／渋川参加）

▼新しいことをやってみる！ことはやはり大事だと思いました。かなりの労力お金も時間もかかることですがその原動力は「楽しい、おもしろい、人の役に立っている実感」を感じられることが秘訣かなと思いました。（40代女性／渋川参加）

▼転勤族で「ふるさと」と呼べるような場所がない私にとって、渋川が「ふるさと」のような存在になりました。また帰ってきたいです。人の輪が広がって、いつのまにか大きくなっていたこの事業に携われたこと、誇りに思います。ありがとうございました。（20代女性／東京参加）

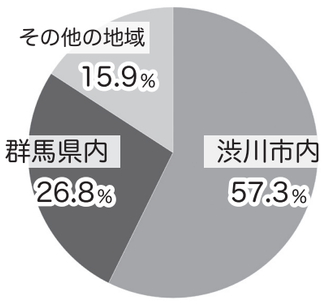
お客様の年代

10〜80代と幅広い年代



お客様エリア属性

県内6割、県外3割来場



その他の地域

東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・新潟県・福島県・山梨県・静岡県・大阪府・フィリピンからもお越しいただきました。

地元納涼祭でぼんやしろしろ

2019年8月に行われた渋川市元町地区の納涼祭で、第１回公演「ぼんやしろしろ」のフィナーレ曲を踊りました。お祭りは地元の人々に加え、東京から渋ミュのメンバーも参加して、総勢160名が参加。ミュージカルで作られたオリジナルの盆踊りが地元の方々にも受け入れられ、老若男女みんなで踊っている光景が印象的でした。

ミュージカルから派生したコンサート企画。
コンセプトは上質な音楽を渋川市民に稽古場から飛び出して、出前のように届けること。
演者はミュージカルの歌唱指導をしているプロの歌い手や東京もしくは地元で活躍している演奏者たち。これまで計３回の公演を実施し、延べ100名の市民の方々に上質な音楽をお届けしてきました。音楽だけでなく、地元の食材を使ったランチやコンサート後に源泉かけ流しの温泉をお楽しみいただくなど、渋川の魅力がいっぱいの他とは少し違ったコンサートになっています。

ランチコンサートを実施

SHIBUKAWA KODOMO WAKAMONO MIRAISOUZOU PROJECT 渋

ミュージカルを軸に地域を盛り上げる！

ミュージカル以外にも、地域に活動の和を広げています

クラウドファンディングによる魅力発信

ミュージカル以外の派生プロジェクトを行うにあたり、クラウドファンディングにより資金集めに挑戦しました。資金集めだけでなく、渋川の魅力発信を目的として、返礼品に地元の名産を取り入れ、サイトに訪れた方が、渋川の魅力を少しでも感じてもらえればと考えています。

中学生の公募による手ぬぐい企画

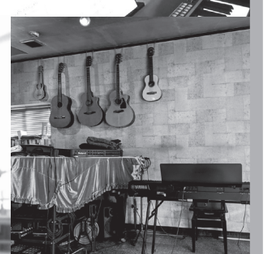
渋川伊香保は温泉手ぬぐい発祥の地と言われ、群馬県唯一の注染の技術を伝承する中村染工場様とのタイアップ企画を実施。渋川市内の中学生から手ぬぐいのデザインを公募し、４校２５作品の応募の中から最優秀作品を商品化。完成した手ぬぐいは舞台小道具と使用しています。しかもその手ぬぐいが今作「ばんやくらぐら」のストーリーで重要な鍵を握るという、作品とも連動した企画となっています。

公演に向けたWSでは、市民の方々がボランティアで運営スタッフとして参加。炊き出しをしてくれたり、食材の提供をしてくれたり、東京からの参加者に民家を提供してくれたりと様々な人たちの「人のつながり」に支えられてミュージカルが出来上がっています。

今作「ばんやくらぐら」の舞台セットは群馬県立女子大学文学部美学美術史学科の学生がデザインから手がけ、プロのアドバイスをもらいながら、製作作業を行いました。製作活動が課外活動として、大学の単位に認定されたり、大学紹介パンフレットに掲載されるなど、大学との結びつきもますます強くなっています。

大学生による舞台セット製作

第1回公演「ぼんやしろしろ」の劇中歌「明日の空」を女声3部にアレンジ。合唱曲として、地元渋川女子高校のコーラス部に歌ってもらい、レコーディング、CD化。
ミュージカルから生まれた楽曲が異なる芸術作品に生まれ変わり、地元に根付いていく。そんなことをイメージしながら、CD化された高校生たちの歌声で地元に広がってくれたらと。



地元高校生による合唱企画